

第17回兵庫連盟合同野営大会

スカウトの祭典 Hyocam. 2012

隊指導者の手引
プログラムガイド



轆轤師の森キャンプ場(通称:ロクロシキャプ場)
平成24年8月8日(水)～8月12日(日)

日本ボーイスカウト兵庫連盟

隊指導者の手引 プログラムガイド

目 次

1. Hyocam 2012 のプログラムの基本.....	1
1.1参加隊隊長の役割.....	1
(1)隊活動の充実 (2)プログラム選択の援助指導	
(3)規準の維持と日々の向上 (4)友情の広がりのために	
(5)楽しむための安全指導、安全管理	
1.2プログラムについての理解.....	2
(1)活動を理解する (2)構成と内容を理解する	
(3)プログラムへの協力	
2. プログラムの参加方法について.....	2
2-1参加隊編成.....	2
2-2プログラム参加.....	3
2-3プログラムの基本.....	3
2-4プログラムの区分と内容.....	3
2-5標準日程.....	7
2-6見学隊の来訪.....	8
2-7地図.....	8
2-8プログラムへの申し込み.....	9
2-9プログラムガイド.....	11
3. その他.....	34

1.Hyocam 2012 のプログラムの基本

1.1参加隊隊長の役割

(1) 隊活動の充実

今回の兵キャン 2012「第 17 回兵庫連盟合同野営大会」は、兵庫のスカウト運動が歩んできた 62 年の時の流れを振り返り「スカウト運動の原点」を再認識する大会であり、県下のスカウトが一同に集う、県下最大の野営大会である。大会実施に当たっては、スカウティングの原点に立ち戻り、創意と工夫に満ちた野外活動を通じて、平素培った訓練成果と班制教育を基盤とした自発活動を促し、野営生活を通してたくましく生きる力を育み、地域社会との共生を図り、スカウト運動の発展と躍進を期することを目的に開催する。

大会テーマ:

“ さとき心と強き体で スカウトキャンプ～Let's Enjoy Wild Camp!～ “

本大会ではスカウト運動の根幹、班を基本とし隊活動の展開を通して活動の更なる充実を図る。自然豊かな野営地の中で工夫に満ちた野営生活を楽しみ、たくましく冒険心にとんだプログラムに挑戦し、県下スカウトとの交流を促進する。

(2) プログラム選択の援助指導

本大会では、班(隊)活動を主体とし、大会開催趣旨に沿い、参加にあたり事前に参加班(隊)の規準に沿った訓練をする(導く)ことが求められる。また、班(隊)においては大会期間中の野営生活を可能にする技能を身につけることを求める。そして、大会期間中での過ごし方をスカウト自らがあらかじめスケジュールを組んで参加することを基本とします。

ただし、本部プログラムである全体行事および表彰式については、必ずそのスケジュールに組み入れていただきたい。

よって、参加隊長は、期間中のスカウトの活動が充実するように、事前に班活動、隊活動を通して準備や計画についてプロセスを守り、よく指導して参加してください。

(3) 規準の維持と日々の向上

班、隊で事前に目標設定した計画を遂行し、十分に備えて参加し、大会期間中においては日々の班(隊)活動をより良く改善、向上させることにより、快適で楽しいキャンプ生活が確保されます。自然に恵まれた野営地において、その環境を満喫するとともに、大会の雰囲気十分に味わい、プログラムを楽しめるように導いてあげてください。

(4) 友情の広がりのために

本大会終了後は、全てのスカウトが多く喜びと楽しい思い出、そして多くの誉れを胸に刻み、その後のスカウト活動の向上につながるように指導してください。

(5) 楽しむための安全指導、安全管理

本大会を楽しむためには、怪我や病気をしないように、いつも留意する必要があります。プログラム展開に当たっては、積極的に挑戦するように奨励すべきですが、合わせてスカ

ウト自身の注意義務と安全については、仔細にわたり指導しなければなりません。班活動、隊活動においては、安全対策や応急対策をそれぞれの班(隊)において計画し、安全第一に活動し、安全管理の責任者を明確にしてください。

1.2 プログラムについての理解

(1) 活動を理解する

本大会の期間中のプログラムについては、スカウト一人ひとりの自主的な目標設定とプログラムの企画、計画が尊重されます。参加隊長は、スカウトたちに事前研究、特に班集会、班会議、班長での協議と研究を正しい方法で支援、援助、指導し、本大会での活動に結び付けてください。

大会期間中においてもスカウトのプログラム進捗状況を把握するとともに、その後の遂行についてもスカウトへの継続的な支援を実施してください。

また、信仰、奉仕活動、交換行事、友情交換は、参加するスカウトが参加の意思決定時から大会期間中および終了後の班(隊活動)に加え、地域におけるスカウト活動においても、スカウト精神を高揚する手立てとして、参加隊長に委ねられる重要な活動であると考えます。事前の集会において、スカウトへの動機付け、および指導を行ってください。また、本大会の意義や目的、目標、役割分担なども同様に、一つの教育手段として活用し、スカウトに指導や支援を行ってください。

(2) 構成と内容を理解する

参加隊長は、事前にプログラムをよく研究し、スカウトがスムーズにプログラムに参加できるように、このプログラムガイドについてよく理解し、参加スカウトを指導、支援してください。

(3) プログラム への協力

自然豊かな地での野営生活が快適に過ごせるように、また、スカウトが自ら選んだプログラムに万全な状態で参加できるようにスカウトの健康管理や時間厳守など、参加させる側(送り出す側)としてのご配慮をよろしくお願いします。

2. プログラムの参加方法について

2-1 参加隊編成

原隊の組織を基準とし、1個班 6～8 名の 4 個班＋指導者計約 30 名で構成するが、原隊独自の構成が難しい場合は、各地区及び野営エリアで調整のうえ、隊を編成する。

隊指導者は、スカウトが長期野営を満喫するために、スカウト個々を見極めた野営技能のアップ(事前訓練)、スカウト自らが参加したプログラム計画書の作成、プログラムを楽しむための体、心の準備が出来るように支援・指導を行ってください。

2-2 プログラム参加

各プログラムへは、班単位で参加する。

※プログラムの内容により、個人で参加するものがあります(ニアプログラム:ロープ結び、レリジョン(信仰奨励)プログラム等)

2-3 プログラムの基本

本大会は、轆轤師の森キャンプ場を中心とする宍粟市北部の山麓に、参加隊の主体性と協働のもとに班活動を主とするプログラムを展開する。

県下スカウト仲間との交流を基盤に、原隊活動の年間の締めくくりを目指すもの、地域の歴史、文化に接する機会を求める活動、豊かな自然を生かした冒険心に満ちた活動も含まれる。また同時期に氷ノ山を頂点とする周辺山岳に展開されるベンチャースカウトの高度な野外活動(HHAC2012)も並行して実施され、本連盟の全てのボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウトが一堂に会してその経験を振り返り語りあうまたとない機会となる。

大会期間中を通して、本来のスカウティングの実践を目指し、望むべき班活動を可能とする場を提供する。

また、地域の方々や地元の子供たちと交流する場を積極的に設ける。

本大会は、大変自然に恵まれた森の中で開催されます。自然をよく観察し、その中で楽しい野営生活を満喫するだけで十分なプログラムとなり、またそのために準備し、求められる野営を可能にするにはスカウティングの規準の維持が必要とされます。スカウト自身が自らそのことに気づき、自発的に活動することを期待します。また、指導者による“導き”をお願いします。

2-4 プログラムの区分と内容

本大会のプログラムは、本部プログラムとして、一堂に会する開会式、大営火、表彰式、閉会式などだけでなく、自然を大いに利用したスカウト技能を競う参加隊プログラムで構成される。

(1)本部プログラム

①全体行事

開会式、大営火、閉会式を全体行事とし、大会本部が企画・運営する。全体行事には参加者全員が参加する事を原則とする。

本部プログラムは全員参加を原則とします。大会の開会式にて兵庫県内のブロック単位でエールの交換を行い、大会への意欲を示します。大営火でも各ブロック単位で演技を披露し、交流の場とします。閉会式においては、大会期間中での思い出を心に残すとともに、仲間への尊びと自然への感謝を残します。

※東ブロック:尼崎地区、阪神北地区、阪神さくら地区

中ブロック:神戸地区、神戸垂水地区、淡路地区
 西ブロック:はりま地区、姫路地区、西播地区、但馬地区

セレモニー					
開会式		大営火		表彰・閉会式	
日時	8/8(1日目) 19:00~20:00	日時	8/10(3日目) 19:00~21:00	日時	8/11(4日目) 20:00~21:00
場所	セレモニー広場	場所	営火場	場所	セレモニー広場
内容	開会セレモニ、地区エール交換	内容	ソング、スタンツ、鎮魂の火	内容	表彰、閉会セレモニ

②表彰式

本部プログラムおよび参加プログラムを通して、大会本部が定める目標を達成したスカウトには、その誉れの証として、**轡轡師の森賞(仮称)**を授与する。

スカウトは、“班活動の充実”を念頭に地理的条件等を生かした内容豊富な生活を行い、日ごろの訓練の成果を確かめるべく、積極的に参加し、**轡轡師の森賞(仮称)**を目指してもらいたい。そのことにより、スカウトはスカウティングの目的を達成することとなる。

表彰	
班	轡轡師の森賞 当地において、自然を満喫し、スカウトらしい野営生活を過ごした班を各隊長よりの推薦にて表彰する。
	優秀班賞 対象プログラムにおいて、優秀な成績を収めた班または個人を表彰する
個人	弥栄賞 大会期間中を通じ、努力をし、学び、楽しんだスカウトに対してやさかを送る。

表彰はその内容により、班あるいは個人を対象として行います。

「轡轡師の森賞」は自然豊かな地において野営技術を思い存分発揮し、また日々の改善にも最善を尽くし、快適な野営生活を行った班に対して、参加隊各隊長の推薦により自隊の優秀な1個班の表彰を行います。

「弥栄賞」は、大会参加に際し、事前に十分な訓練に参加するとともに、大会期間中もスカウト精神を規範として日々努力し、仲間とともに多くの思い出を作ったスカウト個人を讃えます。また、大会終了後も継続してスカウト活動に邁進するであろうことを期待して賞を贈ります。

「優秀(班)賞」は、参加プログラムに対して真剣に取り組み、成果を残したスカウト(班)より優秀なものに対して賞を贈ります。対象となる参加プログラムに「優秀」の印を入れ区別します。

※各スカウトにとって、各“賞”を日ごろのスカウト活動の成果であり、自身の誉れとしてほしい。

(2)参加隊プログラム

- ・プログラムを可能とする基本は、次の通りとする。
- ①隊活動 規律の維持、班活動の充実、交流 他
- ②班活動 優秀班を目指す活動、プログラムへの積極的参加 他
 - ・参加隊プログラムはプログラムの基本を踏まえ、大きく4つに分類する。

大会参加に当たっては、班活動を活発に行い、それらの班により規律のもと隊が構成されるものとします。班員は自発的に活動に取り組み、仲間との協力のもと、対班競点により切磋琢磨されることを望みます。

1) 事前プログラム

参加隊は、班を基本としてプログラムプロセスに沿い、大会参加前より班員の育成のための取り組みを行う。
 事前プログラムも大会のプログラムと捉え、参加隊自らの運営により、大会参加にあたっての事前訓練(班長会議、班長訓練、班会議・班集会)を実施する。

参加隊は、大会参加に当たり、大会開催の趣旨を理解し、スカウト自らがプログラム計画を立て、大会当日に臨むものとします。スカウト自身は自らの技量を知るとともに、自らが目指す目標を持ち、そのための努力を行う。また、指導者はそれを可能にするための準備と支援を行います。

生活・野営プログラム		
事前	計画書	隊、班の活動計画書の作成
	準備	参加隊、班による長期野営に向けた活動準備
当日	報告書	日課として、班報告書の作成。
	生活	長期野営生活を快適に過ごすための工夫
	炊事、食事	衛生的でおいしい炊事・食事、プログラムに備えたメニュー・調理
	汚水処理	生活排水の汚水処理ルールへの遵守
	安全、健康	安全の最優先。自己による健康管理。

2) 野営プログラム

野営地でのキャンプ生活は、またとない野営規準の学習の場と捉え、自然の中で寝食をともにする野営生活そのものをプログラムとするように隊運営を行う。
 日々の生活だけでなく、班・隊による朝礼、体操、スカウトソングなどを信仰奨励章取得など信仰への学びをえる機会とし、スカウト自らの活動の機会となるようにする。また、作業や生活へ活力を与えるスカウトソングを大いに歌うことを奨励する。

野営自らが重要なプログラムである。自然の尊さを知るとともに、その中での快適な生活を目指すための努力と工夫が重要なプログラムである。現時点で満足することなく、よりよい目標に向かって努力することが尊いものと知ることができる。

スカウト・指導者とも、生活を通して信仰への気づきとなる行動を行うことが望まれる。機会はいつでも、どこでもよい。まずはそのための行動を始めることが大切である。

3) 参加プログラム

本部プログラムとして、一堂に会する開会式、大営火、表彰式、閉会式などだけでなく、自然を大いに利用したスカウト技能を競う参加隊プログラムを提供する。

スカウトは「参加プログラム」に参加することで、事前プログラムでの成果を班の一員として発揮し、その誉れを受けることとなる。班活動の成果を競うことで、個人あるいは班員としての自信と誇りを高める機会となるであろう。

大会本部は、自然への取り組み以外に、スカウトの技能を確かめる場、試す場として参加プログラムを提供します。

プログラムはその運営の仕方により2つに区分出来ます。

- ・「提供プログラム」…課題の提供、運営を大会本部側で行うプログラムです。このプログラムガイドの示す内容(後頁)をよく読み、理解し、必要な場合は事前申し込みをして備えてください。スタッフの配置は、出発(開始)、帰着(終了)、安全管理とともに、プログラム自身の運営についても配置し、直接指示を行います。
- ・「紹介プログラム」…当地の活動に相当と思われるプログラムを紹介します。相当と思われる課題についてもチャレンジ内容や想定文を通して紹介をしますが、その運営・実施は、班の自主活動として進めていただきます。スタッフの配置は行いますが、出発(開始)、帰着(終了)などの確認、必要とされる安全管理の人員のみといたします。事前に申し込みを必要とするものもあります。

※事前に申し込みを必要とするプログラムがあるのは、プログラムの内容、性格上、人数が限定されているもの、また、プログラム遂行にあたり、一時の集中による混乱を避けるためにですのでご理解願います。(参照:2-8プログラムの申込)

また、プログラムは、野营地及び近郊の特色を生かし、「ハイキング トライアル プログラム」として、その距離を目安として「ショートハイキング」、[ミドルハイキング]と「ロングハイキング」に大別できます。距離は目的を達成するための技能に沿う面もありますが、必ずしもそうとは言えず、距離に関係なくより高度な技量を必要とするものもあります。楽しく、またわくわくする内容が含まれていますので、プログラム内容(後頁)の資料をよく読んで、大会期間中のプログラム計画に組み入れてください。なお、技量を試す意味でも、自分の技量を見極め、ぜひ

日々ステップアップする方向性を持って、挑戦してください。

もうひとつ、「ニアプログラム」として野営地に近い場所にプログラムの開催場所を設け、参加できるプログラムも用意しています。内容は、文化・体育・芸術などなど盛り沢山で、興味をひくものに取り組んでいただけるよう計画しました。それぞれのプログラム内容(後頁)を参照し、時間、準備品、場所を考慮して、「ハイキング トライアル プログラム」とセットして取り組んでください。一部には、指示書に基づき、いつでも、どこでも、取り組んでいただけるものもあります。

4) 弥栄プログラム

大会参加後に継続するプログラムである。大会期間中での参加スカウト自身による技能の習得、試練・苦悩そして誉れの共有や情熱などを事後プログラムとして実施していただきたい。大会参加時の評価・反省をはじめ、報告書の作成、記念誌(記録)などの作成を参加隊の班による集会、班長会議、班会議などにより、成果に結び付けていただきたい。

大会終了を終わりとせず、大会期間中に得た感動、思い出、仲間を今後のスカウト活動に活かしてもらいたいと考えます。その内容は、報告書や記念誌(記録)だけでなく、スカウトの原理・原則を尊重し、スカウトの規準を守ることにより可能となった成果をよく評価分析し、また、理解し、その後の活動においても持ち続けられるように、指導者の支援を期待します。

2-5 標準日程

日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
日程	8月8日(水)	8月9日(木)	8月10日(金)	8月11日(土)	8月12日(日)
午前	入場開始	優秀班を目指す活動①	優秀班を目指す活動③	優秀班を目指す活動⑤	撤営・退場
午後	設営	優秀班を目指す活動②	カブ・ビーバーデー 優秀班を目指す活動④	優秀班を目指す活動⑥	
夜間	開会式		大営火	表彰式 閉会式	


2-6 見学隊の来訪

<p>(1) ビーバースカウト、カブスカウト隊の見学は、おおいに歓迎する。 各隊の輸送及びプログラムは、それぞれ各隊、各地区において計画実施する。</p> <p>(2) 見学隊プログラム実施への援助を行う。 ① プログラム施設の紹介と利用の調整 ② ピクニックコース、観光コースの紹介</p>
--

・「カブ・ビーバーデイ」

見学隊を歓迎し、「カブ・ビーバーデイ」を設けています。

ボーイスカウト隊の野外活動生活、プログラム実施の様子を見学するだけでなく、セレモニーや全体プログラムを実施いたします。また、近隣の体験プログラムや見学・観光施設やコースを紹介し、楽しい時間を過ぎてもらえるよう計画しています(後頁参照)。

カブ・ビーバーデイ					
目的	カブ・ビーバー年代のスカウトの交流と上進への意欲の向上				
テーマ	カブのテーマ「古代人」、ビーバーのテーマ「なかよし」				
日付	8/10(3日目)	受付	12:30	場所	セレモニー広場 第一キャンプ場北側の森
全体集会	13:00~14:00	セレモニー、ワイドゲーム			
紹介プログラム	14:00~ 紹介プログラム(各隊により自由選択)				
	家原遺跡公園 … 竪穴式住居見学 (体験工房) … 竹トンボ、勾玉作り		御形神社 … 日本一の絵馬 みかた四季公園 … 樹木の日時計		
	道の駅”みなみ波賀” … リンゴジャム作り		歴史資料館 … 化石【実物】		
<p>※サイト見学は自由ですが、指導者の指導のもと各隊の責任において行動。 ※参加隊の生活・活動への影響は最小限となるようご配慮願います。</p>					

・「フレンドシッププログラム」

近隣の小学生の体験学習にタイアップするプログラムを提供します。

ボーイスカウト活動の野営生活を見学するため、参加隊サイトの見学やプログラムへの取り組みを観察してもらいます。また、体験活動として「空中散歩」をイメージした PA(プロジェクト・アドベンチャー)の提供をいたします。

※PA: 体験を通して、新しい自分を発見し、自分がより好きになること、また人と交わることの楽しさを学ぶ活動(ゲーム)

2-7 地図

- ・国土地理院 1/25000 (プログラム展開地域は2枚の地図に分断されている)
「音水湖」(西をカバー)、
「神子畑 みこはた」(東をカバー)
- 1/50000 「大屋市場」

- ・プログラム部使用地図 1/25000
 - 「ハイキングマップ」 …SM-1
 - 「ミドル 河原田不動滝用」 …M-1
 - 「ミドルハイク 水上山用」 …M-2

2-8 プログラムへの申込

プログラム参加へは、事前に大会期間中の過ごし方をスカウトとともに考え、スカウト自らの活動により実行できるものを計画してください。

計画に当たっては、スカウトの技能、技量を十分に把握し、興味とチャレンジ心を満たす内容が適切と考えます。

プログラムはプログラムガイドを十分に読み(特に、2-4プログラムの区分と内容)、その内容や参加ルールを理解し、選択の上で申し込みを行い、参加してください。

申込方法:添付の申込書により、事前に申し込みを行ってください。

申込書:「Hyocam 2012 プログラム申し込みシート」

申込書への記入方法:エクセルシートに 隊一班 番号を入力して返送願います。

※申込書の白ぬき欄に参加隊一覧表の隊番号(通し番号)と班番号(自隊で決めた番号)を入力してください。

例… 兵庫隊(00)第1班白クマ班 = 00-1

返信先:返信先アドレス info@bs-hyogo.gr.jp

申込期日:2012年6月29日(金)必着

申込の選考:申し込み期日の到着分により、集計を行い、割り当てを行います。定員を超過する場合、一度に集中し、運営に困難が生じる場合は、抽選結果により、参加隊を決定します。

選より漏れた隊(班)へは、他のプログラムや他の日程への変更をご提案いたします。

結果通知:約2週間後を目処に結果を返送いたします。

※結果通知により、プログラム計画を再確認願います。

留意点:

- ・ロングハイキング:8/11限定のプログラムです。2コースあり、それぞれの登山口へは、バスで移動します。出発時間は、2コースにおいて、複数のバスを用意いたしますが、3回に分かれての出発が予想されます。出発時間は結果通知後に指定いたします。

バス利用に当たっては、利用者の機会均等のため、ワンコインの有料とします(往復@500円予定)

- ・ミドルハイキング:ミドルハイキング3コース(東・西コース、南西コース)はほぼ1日のコースになります。昼食の準備において、野営での工夫をお願いします。

水上山コースは、野営地より移動できる数少ない本格的なハイキングコースです。尾根道を下るコースで、読図、コンパス技量が必要なコー

スです(技量的には、ロングコースに匹敵するコース)。

- ・ニアプログラム:ニアプログラムの大半は1時間ほどの競技です。参加の集中度合いを確認するために申し込み制をとります。基本的には、申し込みの時間に参加いただきますが、申込の集中により、混乱が予想される場合は、他のニアプログラムとの変更をお願いいたします。
申し込み締め切り時に各プログラムの申し込み班数を通知します。
「火起こし」は、決勝を行う(優秀班を召集して実施)ため、8/9-10の2日間のプログラムとします。
決勝は、8月11日の早朝か、夕刻に実施いたします。

※ロングハイキング及び食品づくり体験(ニアプログラム)は参加定員があります。

2-9 プログラムガイド (以下添付)

3. その他

- ・「プログラム申し込みシート」(以下添付)

- ・プログラム部使用地図 1/25000 (別途送付)

「ハイキングマップ」	…SM-1
「ミドル 河原田不動滝用」	…M-1
「ミドルハイク 水上山用」	…M-2

以上